

〔 1 〕 大規模小売店舗届出書

様式第 1 (第 3 条関係)

※受理年月日	令和 年 月 日
※受理番号	
※備考	

大規模小売店舗届出書

令和 8 年 1 月 5 日

神戸市長 様

株式会社コスモス薬品
代表取締役 横山 英昭
福岡市博多区博多駅東二丁目 10 番 1 号

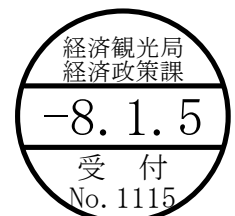
大規模小売店舗立地法第 5 条第 1 項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

- 1 大規模小売店舗の名称及び所在地
名 称：(仮称)ドラッグコスモス御影店
所在地：神戸市東灘区御影石町一丁目 448 番 1 他
- 2 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

小売業を行う者の氏名又は名称	住 所
株式会社コスモス薬品 代表取締役 横山 英昭	福岡市博多区博多駅東二丁目 10 番 1 号

- 3 大規模小売店舗の新設をする日
令和 8 年 9 月 6 日
- 4 大規模小売店舗内の店舗面積の合計
1, 244 m²



5 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

駐車場No.	駐車場の種類	位 置	収容台数
駐車場	平面駐車場 (自走式)	建物 1 階および北側 (添付図面 P3、建物配置図兼 1 階平面図参照)	37 台

※全体収容台数 44 台

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

駐輪場No.	位 置	収容台数
駐輪場	建物 1 階および敷地北側 (添付図面 P3、建物配置図兼 1 階平面図参照)	57 台

※原付用 8 台を含む

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

荷さばき施設No.	位 置	面 積
荷さばき施設	建物東側 (添付図面 P3、建物配置図兼 1 階平面図参照)	32.0 m ²

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

廃棄物保管施設No.	位 置	容 量
廃棄物保管施設①	建物内南側 (添付図面 P3、建物配置図兼 1 階平面図参照)	4.0 m ³
廃棄物保管施設②	建物内南側 (添付図面 P3、建物配置図兼 1 階平面図参照)	8.0 m ³
合 計		12.0 m ³

6 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

9 時 00 分～21 時 50 分

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

8 時 30 分～22 時 00 分

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

出入口No.	位 置	出入口数
出入口	敷地東面 (添付図面 P3、建物配置図兼 1 階平面図参照)	1 箇所
合 計		1 箇所

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

6 時 00 分から 22 時 00 分まで

〔 2 〕 大規模小売店舗立地法に基づく添付書類

1 法人にあっては、その登記簿の謄本、個人にあってはその住民票の写し
登記簿謄本<別添>のとおり

2 主として販売する物品の種類

小売業者名	主として販売する物品
株式会社コスモス薬品	医薬品、化粧品、食品等

3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

- ① 広域見取図：添付図面 P1
- ② 周辺見取図兼用途地域図：添付図面 P2
- ③ 建物配置図兼 1 階平面図：添付図面 P3
- ④ 2 階平面図：添付図面 P4
- ⑤ 建物立面図：添付図面 P5
- ⑥ 来店客車両の案内経路図：添付図面 P6
- ⑦ 周辺道路状況図：添付図面 P7
- ⑧ 騒音発生源位置図（1 階）：添付図面 P8
- ⑨ 騒音発生源位置図（2 階）：添付図面 P9

4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

① 指針の基準による必要駐車場台数算出根拠(端数処理：四捨五入)

事 項 等	各事項算出のための計算式等	
当該都市行政人口	1,493,543 人	神戸市（令和 7 年 1 月 1 日現在 住民基本台帳）
地区の区分	その他地区	用途地域：準工業地域
S：店舗面積	1.244 千㎡	——
A：日来店客数原単位	1,350 人／千㎡	その他地区、人口 40 万人以上、店舗面積 10 千㎡未満
B：ピーク率	14.4 %	——
L：駅からの距離	駅から約 450m	阪神電鉄本線 石屋川駅
C：自動車分担率	50.0 %	その他地区、人口 100 万人以上
D：平均乗車人員	2.00 人／台	店舗面積：10 千㎡未満
E：平均駐車時間係数	0.614	店舗面積：10 千㎡未満
・小売店舗の必要駐車台数	37 台	$= A \times S \times B \times C \div D \times E$
・日来店客車両台数(休日)	420 台／日	$= S \times A \times C \div D$
・ピーク時の来店車両台数(休日)	60 台／時	$= S \times A \times B \times C \div D$

② その他の駐車場の状況

[従業員等（業務用含む）駐車場]

事 項	有無の別	当該小売店舗駐車場と 共用・別途の別	必要 駐車台数	備 考
従業員等駐車場	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 共用・別途	7 台	雇用予定人数に基づき想定

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

① 駐車場の自動車の出入口の形式

ア 駐車場の入庫処理能力

出入口の場所	1時間当たり入庫処理能力	ピーク1時間に予想される来客の自動車台数
出入口 敷地東面 (添付図面P3、建物配置図兼1階平面図参照)	450台/時(※1)	60台/時(※2)

※1 発券ゲートは設置しませんが、立地法の指針参考値（オペレーターあり、平面自走式駐車場）の入庫処理能力（約8秒/台）を採用しています。

※2 p.3参照。

イ 敷地内駐車待ちスペース

出入口の場所	駐車待ちスペースの有無	実際に用意する駐車待ちスペース	発券ブースの有無	必要駐車待ちスペース
出入口 敷地東面 (添付図面P3、建物配置図兼1階平面図参照)	有	約17m	無	0m(※)

※ 駐車場出入口に必要な駐車待ちスペースは、以下の式により算出しました。

- ・ 出入口の必要駐車待ちスペース

$$= (\text{当該出入口の1分当たりの来台数} \times 1.6 - \text{当該出入口の1分当たりの入庫処理能力}) \times 6\text{m}$$

$$= (60\text{台/時} \div 60 \times 1.6 - 450\text{台/時} \div 60) \times 6\text{m}$$

$$= -35.4\text{m}$$

以上の計算により、駐車場出入口に必要な駐車待ちスペースの長さは0mとなります。

② 敷地周辺の道路の状況

項目	道路No.1 (市道西御影線)	道路No.2 (市道御影石町6号線)
主要経路	○	—
道路幅員 (車線数) 歩道の有無・ 幅員	約 15.0m (北行:1車線、南行:1車線) 有 東側:約 3.0m、西側:約 3.0m	約 4.0m (1車線) 無
道路横断	添付図面 P3、 建物配置図兼 1階平面図参照	添付図面 P3、 建物配置図兼 1階平面図参照
交通規制	—	—
信号交差点数 (右折帯設置の 交差点数)	0 交差点 (0 交差点)	0 交差点 (0 交差点)
横断歩道等の状況	無	無
通学路の有無	有	無
バス路線の有無	無	無

※現況写真等の状況は、添付図面 P7 周辺道路状況図のとおり

③ 来客の自動車の方向別台数の予測の結果等

ア 現状の平日、休日（日曜）それぞれの交通量調査の結果

調査年月日	平日：令和7年4月14日（月）8時～23時（晴れ） 休日：令和7年4月13日（日）8時～23時（曇り）
調査場所	P6 参照
調査の委託先	泉州繊維産業株式会社
調査方法	各調査地点において、通過する車両を方向別、時間帯別、車種別にカウンターを使用して計測しました
調査結果	別添資料『交通処理検討報告書 P5～P8』参照



図 交通量調査地点位置図

イ 開店後の周辺道路の交通量の予測

予測方法	<ul style="list-style-type: none"> ・現況のピーク時交通量に、計画施設のピーク時の発生交通量を上乗せして算出しました。 ・方面別来店客車両台数は、計画施設の商圈内のブロック別世帯数比率から算出しました。
予測の根拠	別添資料『交通処理検討報告書 P9～P13』参照
予測結果	別添資料『交通処理検討報告書 P14～P15』参照

6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

① 周辺見取図に来客の自動車の案内経路を表示した図面
 <添付図面 P6、来店客車両の案内経路図参照>

② 経路等を来店者に知らせる方法

項目	具体的な内容
案内表示の設置 (看板等)	・駐車場出入口付近に出入庫方向等を示す案内板を設置します(添付図面 P3、建物配置図兼 1 階平面図参照)。
ちらし等の配付	・広域誘導については、オープン時等に配布する広告チラシに出店場所と主要経路を掲載し、お客さまに周知します。なお、出入口については右折入出庫も可能ですが、「左折入出庫にご協力下さい」等の掲示を行い、積極的な右折入出庫の案内は行いません。

7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

荷さばき施設No.	搬出入車両の車種・大きさ	搬出入時間帯	搬出入車両数	平均的な荷さばき処理時間
荷さばき施設	2～4t 車	6:00 ～ 22:00	5 台	15 分
	ピーク時の搬出入車両の台数		1 台	—

時 間 帯	搬出入車両台数 2～4t 車	廃棄物収集車両 台数
6:00 ～ 7:00	1 台	2 台
7:00 ～ 8:00	1 台	
8:00 ～ 9:00	1 台	
9:00 ～ 10:00	1 台	
10:00 ～ 11:00	0 台	
11:00 ～ 12:00	0 台	
12:00 ～ 13:00	0 台	
13:00 ～ 14:00	0 台	
14:00 ～ 15:00	0 台	
15:00 ～ 16:00	0 台	
16:00 ～ 17:00	0 台	
17:00 ～ 18:00	0 台	
18:00 ～ 19:00	0 台	
19:00 ～ 20:00	0 台	
20:00 ～ 21:00	0 台	
21:00 ～ 22:00	1 台	
合 計	5 台	2 台

8 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

遮音壁の有無	遮音壁の高さ	遮音壁の厚さ	材質・構造	遮音壁の位置
<input type="checkbox"/> 無・有	—	—	—	—

9 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

項 目	設置の有無	稼働時間帯	位 置
冷却塔	<input type="checkbox"/> 無・有	—	—
室外機	無・ <input type="checkbox"/> 有	8:30 ～22:00 (空調用) 24 時間 (冷凍庫用)	添付図面 P8, P9 騒音発生源位置図参照
送風機	無・ <input type="checkbox"/> 有	8:30 ～22:00 (一部、24 時間稼働あり)	

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

① 昼間の等価騒音レベルの予測

予測地点	用途地域	等価騒音レベル 【昼間：6時～22時】				環境基準 (昼間)
		定常騒音	変動騒音	衝撃騒音	合成値	
A ₁ (H=1.2m)	準工業地域	39.9 dB	43.4 dB	33.5 dB	45 dB	60 dB [C類型]
A ₁ (H=4.4m)		40.1 dB	43.2 dB	33.2 dB	45 dB	
A ₂ (H=1.2m)		39.0 dB	41.5 dB	31.1 dB	44 dB	
A ₂ (H=4.4m)		39.2 dB	41.4 dB	30.9 dB	44 dB	
B (H=1.2m)		48.1 dB	43.8 dB	33.4 dB	50 dB	
C (H=1.2m)		39.6 dB	43.3 dB	29.8 dB	45 dB	
D (H=1.2m)		44.7 dB	57.1 dB	43.5 dB	58 dB	

※ 騒音予測には回折補正量を考慮していません。

昼間の等価騒音レベルの予測の結果、全地点で環境基準を下回ります。

② 夜間の等価騒音レベルの予測

予測地点	用途地域	等価騒音レベル 【夜間：22時～6時】				環境基準 (夜間)
		定常騒音	変動騒音	衝撃騒音	合成値	
A ₁ (H=1.2m)	準工業地域	32.6 dB	—	—	33 dB	50 dB [C類型]
A ₁ (H=4.4m)		32.7 dB	—	—	33 dB	
A ₂ (H=1.2m)		31.9 dB	—	—	32 dB	
A ₂ (H=4.4m)		32.2 dB	—	—	32 dB	
B (H=1.2m)		37.4 dB	—	—	37 dB	
C (H=1.2m)		30.3 dB	—	—	30 dB	
D (H=1.2m)		35.6 dB	—	—	36 dB	

※ 騒音予測には回折補正量を考慮していません。

夜間の等価騒音レベルの予測の結果、全地点で環境基準を下回ります。

- 11 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあつては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠
 <夜間（午後10時～午前6時）において発生することが見込まれる騒音>

予測地点	用途地域	夜間において発生する騒音レベルの最大値				規制基準 (夜間)
		定常騒音	変動騒音	衝撃騒音	全体	
a (H=1.2m)	準工業地域	33.7 dB	—	—	34 dB	50 dB [第三種区域]
a (H=4.4m)		33.9 dB	—	—	34 dB	
b (H=1.2m)		37.4 dB	—	—	37 dB	
c (H=1.2m)		33.8 dB	—	—	34 dB	
d (H=1.2m)		39.5 dB	—	—	40 dB	

※ 騒音予測には回折補正量を考慮しておりません。

夜間における騒音レベル最大値の予測の結果、全地点で規制基準を下回ります。

12 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

① 廃棄物等の排出量等の予測

(端数処理：四捨五入)

廃棄物種別	店舗面積 : S		1日当たりの廃棄物等の排出予測量 : A (= 指針原単位 × S)	平均保管日数 : B	見かけ比重 : C (t/m ³)	排出予測量 A × B ÷ C
紙製 廃棄物等	6,000m ² 以下の部分	1.244 千m ²	(0.259 t)	1.0 日	0.10	2.59 m ³
	6,000m ² 超の部分	—	—			
			計 0.259 t			
金属製 廃棄物等	6,000m ² 以下の部分	1.244 千m ²	(0.009 t)	1.0 日	0.10	0.09 m ³
	6,000m ² 超の部分	—	—			
			計 0.009 t			
ガラス製 廃棄物等	6,000m ² 以下の部分	1.244 千m ²	(0.007 t)	1.0 日	0.10	0.07 m ³
	6,000m ² 超の部分	—	—			
			計 0.007 t			
プラスチック製 廃棄物等	6,000m ² 以下の部分	1.244 千m ²	(0.025 t)	1.0 日	0.01	2.50 m ³
	6,000m ² 超の部分	—	—			
			計 0.025 t			
生ごみ等	6,000m ² 以下の部分	1.244 千m ²	(0.210 t)	1.0 日	0.55	0.38 m ³
	6,000m ² 超の部分	—	—			
			計 0.210 t			
その他の可燃性 廃棄物等	1.244 千m ²		0.067 t	1.0 日	0.38	0.18 m ³
合 計						5.81 m ³

<参 考>

『神戸市事業系廃棄物保管場所等設置技術基準』による保管場所等の面積基準は、以下に示すとおりです。

○ 廃棄物保管場所の面積基準（関係する事業のみ抜粋）

事業用途	廃棄物保管施設の面積	床面積	必要面積
物販	床面積 3,000 m ² 当たり 5.1 m ² 確保	2,779 m ²	4.7 m ² (≒ 5.1 m ² × 2,779 m ² / 3,000 m ²)

○ 資源化物保管場所の面積基準

床面積	資源化物保管場所の面積
3,000 m ² 未満	2 m ²
3,000 m ² 以上 ~ 5,000 m ² 未満	4 m ²
5,000 m ² 以上 ~ 10,000 m ² 未満	8 m ²
10,000 m ² 以上 ~ 20,000 m ² 未満	10 m ²
以後、床面積が 10,000 m ² を越えるごとに	2 m ² を加える

廃棄物保管施設の面積基準は 6.7 m²となりますが、計画施設に設置する廃棄物保管施設の面積は、12.0 m²であり基準を満たします。

〔 3 〕 指針に基づき配慮すべき事項

1 店舗施設計画の概要

(1) 計画地及び周辺の概要

① 計画地の現在の利用状況
更地(事業所跡地)

② 隣接地の用途現況
添付図面 P2 周辺見取図のとおり

③ 街並みづくりの計画の有無とその内容

計画地は『御影浜手まちづくり協定：住工商協調ゾーン』に位置しており、その内容に配慮した施設づくりとします。

<内 容>

多様な土地利用の共存を図りつつ、居住の場、子育ての場にふさわしい安全・健全で秩序ある環境を誘導する。

(2) 建物の構造及び規模

① 建物構造
鉄骨造 2 階建て、高さ 9.7m

② 店舗面積の内訳

イ 敷地面積 2,432 m²

ロ 建築面積 1,433 m²

ハ 延床面積 2,779 m²

ニ 各階ごとの店舗面積及び延床面積

	店舗面積	延床面積
2 階	1,212 m ²	1,400 m ²
1 階	32 m ²	1,379 m ²
計	1,244 m ²	2,779 m ²

(3) 建築着工予定年月日及び完成予定年月日

① 建築着工予定年月日：令和 7 年 11 月頃

② 完成予定年月日：令和 8 年 7 月頃

2 駐車場の計画

① 駐車場の収容台数、面積、駐車区画の大きさ及び敷地の状況

駐車場	収容台数			区画面積	駐車区画の大きさ		契約形態
	一般用	身障者用	合計		一般用	身障者用	
駐車場	35 台	2 台	37 台	472.5 m ²	2.5m×5.0m	3.5m×5.0m	借地

② 交通への支障を回避するための方策等

交通への支障回避の方策	具 体 的 な 内 容
広域の交通誘導	・オープン時等に配布する広告チラシに出店場所と主要経路を掲載し、お客さまに周知します。また、店舗にも出店場所と主要経路を掲示します。
交通整理員の配置など	・オープン時や多客の予想される繁忙時には、駐車場出入口に交通整理員を配置し、車両のスムーズな誘導と歩行者の安全確保に努めます。
スムーズな入出庫の誘導	・入口には場内の駐車待ちスペースを設け（約 17m）、一般交通への影響の低減に努めます。
看板の設置等	・一旦停止、左右安全確認の看板や路面表示にて注意を呼びかけます。

3 自動二輪車駐車施設の計画

① 必要駐車台数算出根拠

(端数処理：切り上げ)

延床面積合計	2,779 m ²
算出式	$2,779 \text{ m}^2 / 3,000 \text{ m}^2 \div 1 \text{ 台}$

② 駐車場の収容台数、面積、駐車区画の大きさ及び敷地の状況

駐車場	収容台数	面積	駐車区画の大きさ	契約形態
自動二輪車置き場	1 台	2.3 m ²	1.0m×2.3m	借地

③ 駐車場案内の表示方法

サインの建物壁面貼付又は路面表示により、自動二輪車駐車場を明示します。

4 駐輪場の計画

① 必要駐輪台数算出根拠

神戸市大規模小売店舗立地法運用要綱により算出しました。

(端数処理：切り捨て)

S：店舗面積	1,244 m ²	
必要駐輪台数算出式	S ≤ 1,000 m ² の場合：1 台 / 20 m ²	1,000 m ² / 20 m ² = 50 台
	1,000 m ² を超える部分：1 台 / 40 m ²	244 m ² / 40 m ² ≒ 6 台
	5,000 m ² を超える部分：1 台 / 160 m ²	
	10,000 m ² を超える部分：0 台	
必要駐輪台数	56 台	

② 駐輪場の構造、収容台数及び面積

駐輪場No.	駐輪場構造	収容台数	面積	駐輪区画の大きさ
駐輪場	平面式	21台	25.2 m ²	0.6m×2.0m
	ラック式	28台	16.8 m ²	0.3m×2.0m
原付置き場	平面式	8台	12.8 m ²	0.8m×2.0m

③ 駐輪場の管理体制

従業員等が適宜巡回し整理整頓に努めます。

④ 駐輪場案内の表示方法

サインの建物壁面貼付又は路面表示により、各駐輪場所を明示します。

5 荷さばき施設の計画

① 荷さばき施設の面積・構造

同時作業の可能な台数		待機スペースの有無・広さ	施設面における防音等の対策
想定する車両の大きさ	台数		
2～4t車	1台	無	<ul style="list-style-type: none"> 作業の効率化による荷さばき時間の短縮 荷さばき車両のアイドリングストップの徹底 夜間帯(22時～翌6時)における荷さばき作業の回避 作業員への騒音防止意識の周知・徹底

② 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数	対応等
無	1箇所(出入口)	<ul style="list-style-type: none"> 商品搬入のドライバーには、敷地内での歩行者や来店車両に十分注意し走行するよう、周知・徹底・指導し、安全確認に努めます。 商品搬入のドライバーには、周辺が通学路に指定されている旨を周知し、安全運転を心がけるよう、指導を徹底します。 営業時間中の搬入については、従業員等により安全確認を行い、来退店客車両等の安全確保に努めます。

6 その他の施設の配置及び運営方法に関する計画

① 歩行者の通行の利便の確保等のための計画

項目	具体的な内容等
歩行者通行の利便性確保のための対策	<ul style="list-style-type: none"> 一旦停止線の標示により、出庫車両の飛び出しを抑制します。 歩行者・自転車の安全確保のため、歩行者・自転車用出入口を設けます。(添付図面 P3、建物配置図兼1階平面図参照) 周辺は通学路に指定されているため、出入口には「通学路注意」の看板を設置し、お客さまに注意喚起を図ります。
夜間照明等の設置の有無	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場内や駐輪場には照明を設置します。

② 廃棄物減量化及びリサイクルについての配慮

項目	取組内容等		周知方法
資源物の回収推進	無	—	—
買物袋再利用推進	無	—	—
簡易包装の推進	有	・お客さまには、簡易包装となるよう呼びかけます。	・商品購入の際、レジにてお客さまへお願いします。
その他の取組	—		—

③ 防災計画への協力

防災協定等締結の有無	締結協定等の内容
<input type="checkbox"/> 無 ・ 有	関係機関等から要請があれば、前向きに検討させていただきます。

④ 地域の防犯対策の協力

防災協定等締結の有無	対策内容
<input type="checkbox"/> 無 ・ 有	<ul style="list-style-type: none"> ・営業時間内には、青少年の溜まり場とならないよう、従業員等によって巡回します。また、必要に応じて警察等の関係機関と連携をとり、防犯及び非行防止に努めます。 ・営業時間外は、駐車場出入口をチェーン等で施錠します。 ・防犯カメラを設置し、防犯対策に努めます。

7 騒音の予測と騒音対策

① 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策の概要

項目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の配置等	・荷さばき施設は、隣接地への影響の少ない敷地東の道路側に配置します（添付図面 P3、建物配置図兼 1 階平面図参照）
荷さばき施設の騒音対策	・荷さばき施設の十分なスペース確保による荷さばき時間の短縮化
荷さばき作業の騒音対策	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の効率化による荷さばき時間の短縮 ・荷さばき車両のアイドリングストップの徹底 ・作業員への騒音防止意識の周知・徹底

② BGM等の営業宣伝活動の予定

BGM等の使用
屋外での使用はありません

③ 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機等の規模・能力・基準距離における騒音レベル等

項目	設置の有無	規模・能力	基準距離における騒音レベル	騒音対策等
冷却塔	無	—	—	—
室外機	有	別添資料 『騒音予測報告書』参照		<ul style="list-style-type: none"> ・低騒音型機器の導入 ・定期点検による異常騒音の発生防止
送風機	有			

④ 駐車場の施設構造と騒音対策の概要

駐車場No.	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
駐車場	排水蓋等の設置による路面段差解消	・お客さまには、掲示物等により、アイドリングストップ及び場内徐行運転への協力を呼びかけます。

⑤ 廃棄物収集作業にかかる騒音対策の概要

廃棄物回収場所の構造	回収時間帯	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
コンクリート	6:00 ~ 22:00	廃棄物保管施設の屋内設置	<ul style="list-style-type: none"> 作業人員には騒音防止意識を周知・徹底させます。 廃棄物収集作業は早朝・深夜に行いません。

8 廃棄物等の保管場所の計画

① 廃棄物保管施設の計画

位置	面積	排出方法	洗浄設備	冷蔵設備等の有無	附属設備の概要
廃棄物保管施設①	4.0 m ²	従業員による	無	無	無
廃棄物保管施設②	8.0 m ²	従業員による	無	無	無

※ 廃棄物保管施設の位置については、添付図面 P3、建物配置図兼 1 階平面図参照。

※ 資源化物については、廃棄物保管施設内で分別・保管し、リサイクル業者へ引き渡す計画です。

9 廃棄物等の運搬・処理計画

① 廃棄物等の運搬方法

項目	紙製 廃棄物等	金属製 廃棄物等	ガラス製 廃棄物等	プラスチック製 廃棄物等	生ごみ等、その他 の可燃性廃棄物等
運搬の方法	業者委託				
予定業者等	市の許可業者				
運搬の頻度	毎日				

② 廃棄物等の処理方法

項目	紙製 廃棄物等	金属製 廃棄物等	ガラス製 廃棄物等	プラスチック製 廃棄物等	生ごみ等、その他 の可燃性廃棄物等
処理の方法	敷地外処理				
処理予定業者等	県または市の許可業者				

③ 廃棄物等の減量・リサイクル計画

廃棄物の種類	A = B + C 発生予測量 t / 年	B 廃棄量 t / 年	C 資源化量 t / 年	C / A 資源化率 %
紙製廃棄物等	95	0	95	100
金属製廃棄物等	3	0	3	100
ガラス製廃棄物等	3	0	3	100
プラスチック製廃棄物等	9	0	9	100
生ごみ等	77	77	0	0
その他の可燃性廃棄物等	24	24	0	0
合 計	211	101	110	52

10 街並みづくり等への配慮に関する事項

① 景観・街並みづくりへの配慮事項

『神戸市建築物等における環境配慮の推進に関する条例』に基づき、敷地内に緑地を確保します。

② 敷地内の緑化計画

敷地面積	緑地面積	緑 化 の 内 容
2,432 m ²	371 m ² (緑化率：約 15%)	平面緑地：250 m ² フェンス緑化：70 m ² 屋根上緑化：51 m ² (屋上太陽光パネル余裕分より振替) 合 計：371 m ² ※ 緑地の位置については、添付図面 P3、建物配置図兼 1 階平面図参照

③ 屋外広告物の計画

『神戸市屋外広告物条例』を遵守します。

④ 屋外照明・広告塔照明等の計画と光害対策

照明の配置・ 方向・強さ	<ul style="list-style-type: none"> ・照明は看板面及び駐車場内に向けての照射とし、敷地外への光害とならないよう配置します。 ・照明の明るさは必要最小限になるよう配慮します。
点灯時間	<ul style="list-style-type: none"> ・日没から営業時間終了まで点灯する計画です。
光害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・必要最小限の点灯計画とし、周辺住居に光が差し込まないようできる限り配慮します。

〔 4 〕 景観配慮事項一覧表

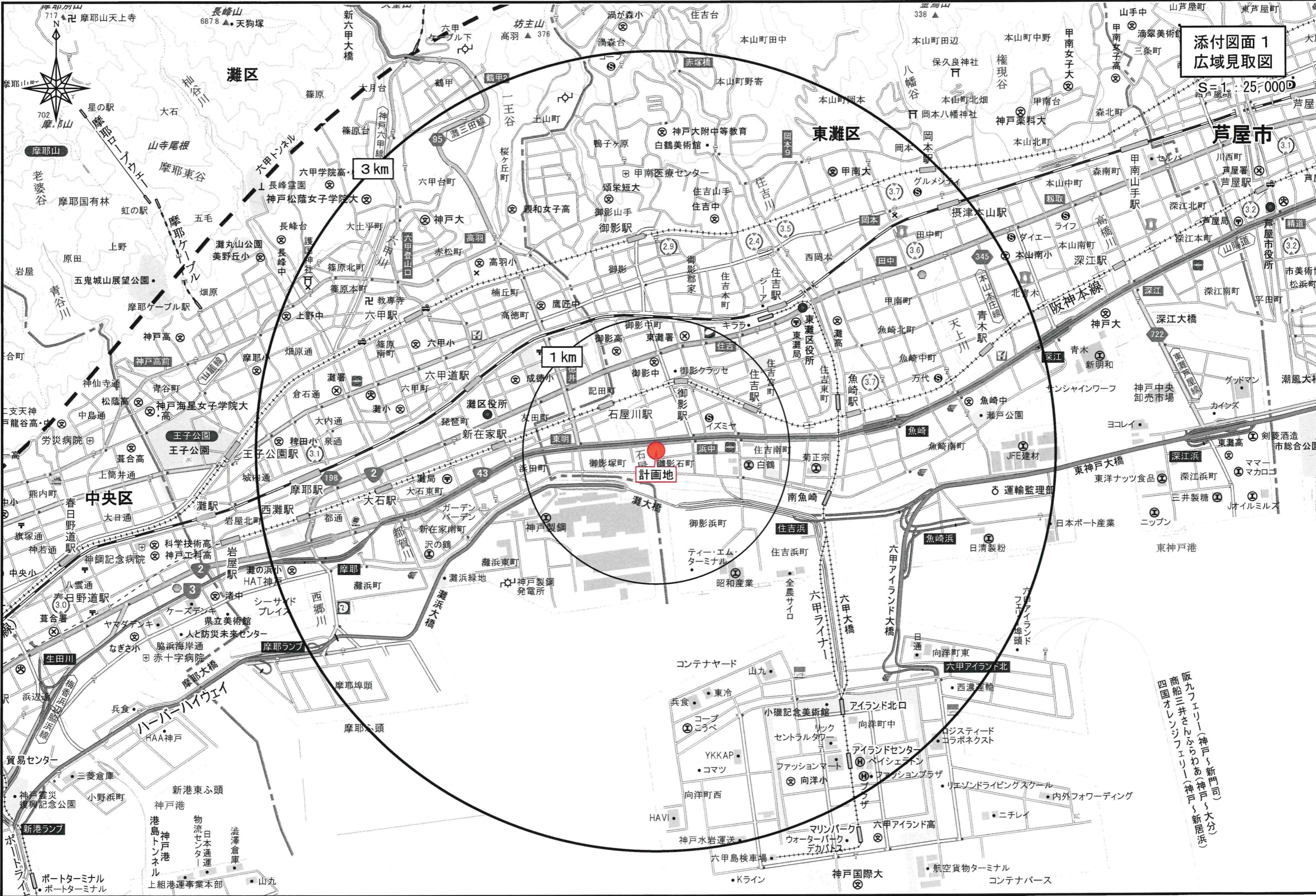
景観上の工夫・配慮事項

基本的な考え方		計画地周辺の建物との調和に努め、『神戸市景観計画』に則り計画します。
配置・形態	外壁の位置	建物は、敷地境界線から 1.5m 以上後退します。
	形態 (屋根、壁面、バルコニー等)	鉄骨造 2 階建てとする計画です。バルコニー等は設けずシンプルな建物形状とします。
	1 階部分 (ショーウィンドー等)	建物の東面をお店の顔とし、来店客用の出入口を設けます。 (添付図面 P3、建物配置図兼 1 階平面図参照)
	その他	—
材料・色彩	屋根	周囲の街並みと調和の取れた色調とします。
	外壁	周辺の建物との調和に努め、『神戸市景観計画』に則り計画します。
	開口部 (ガラス、シャッター等)	建物南面（店舗入口部分）にはガラスの開口部を設ける予定です。
	その他	—
外構・植栽	門・へい	門は設けません。
	敷地前面の舗装	敷地の周囲は道路であり、アスファルト舗装となっております。
	植栽	『神戸市建築物等における環境配慮の推進に関する条例』に基づき、緑地を確保します。
	その他	—
付属物	建築設備の位置・形態	室外機は、なるべく目立たないように配置します。
	広告物 テント	『神戸市屋外広告物条例』を遵守します。
	夜間照明	駐車場照明・看板照明等を適宜配置します。明るさ、照明の方向等については、周辺の光害とならないよう配慮します。 点灯時間については、営業時間終了後すみやかに消灯します。
	その他	—
その他の配慮事項		—

添 付 図 面

添付図面1
広域見取図

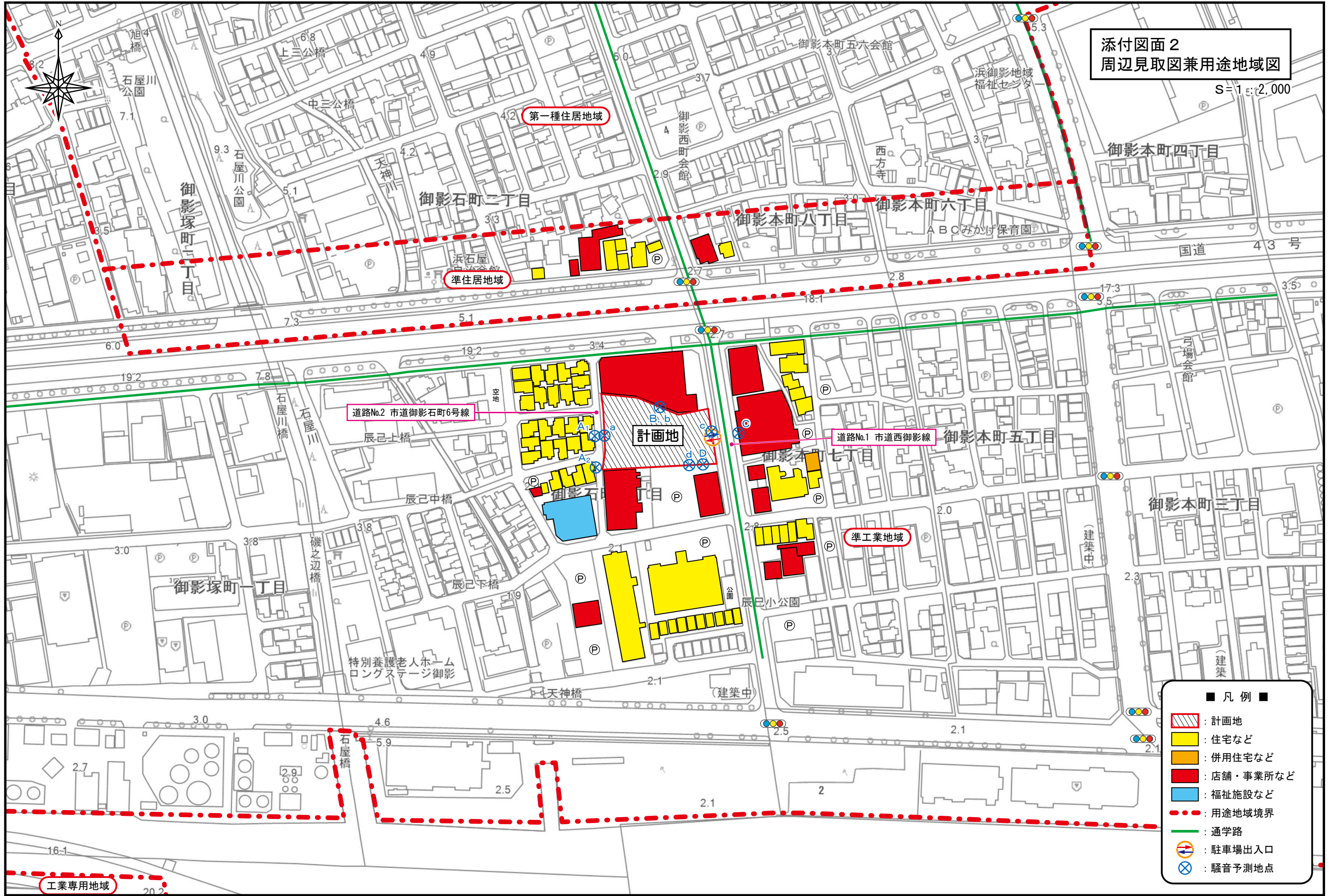
S=1:25,000



阪九フェリー(神戸・新門司)
商船三井さんらわあ(神戸・大分)
四国オレンジフェリー(神戸・新居浜)

添付図面2
周辺見取図兼用途地域図

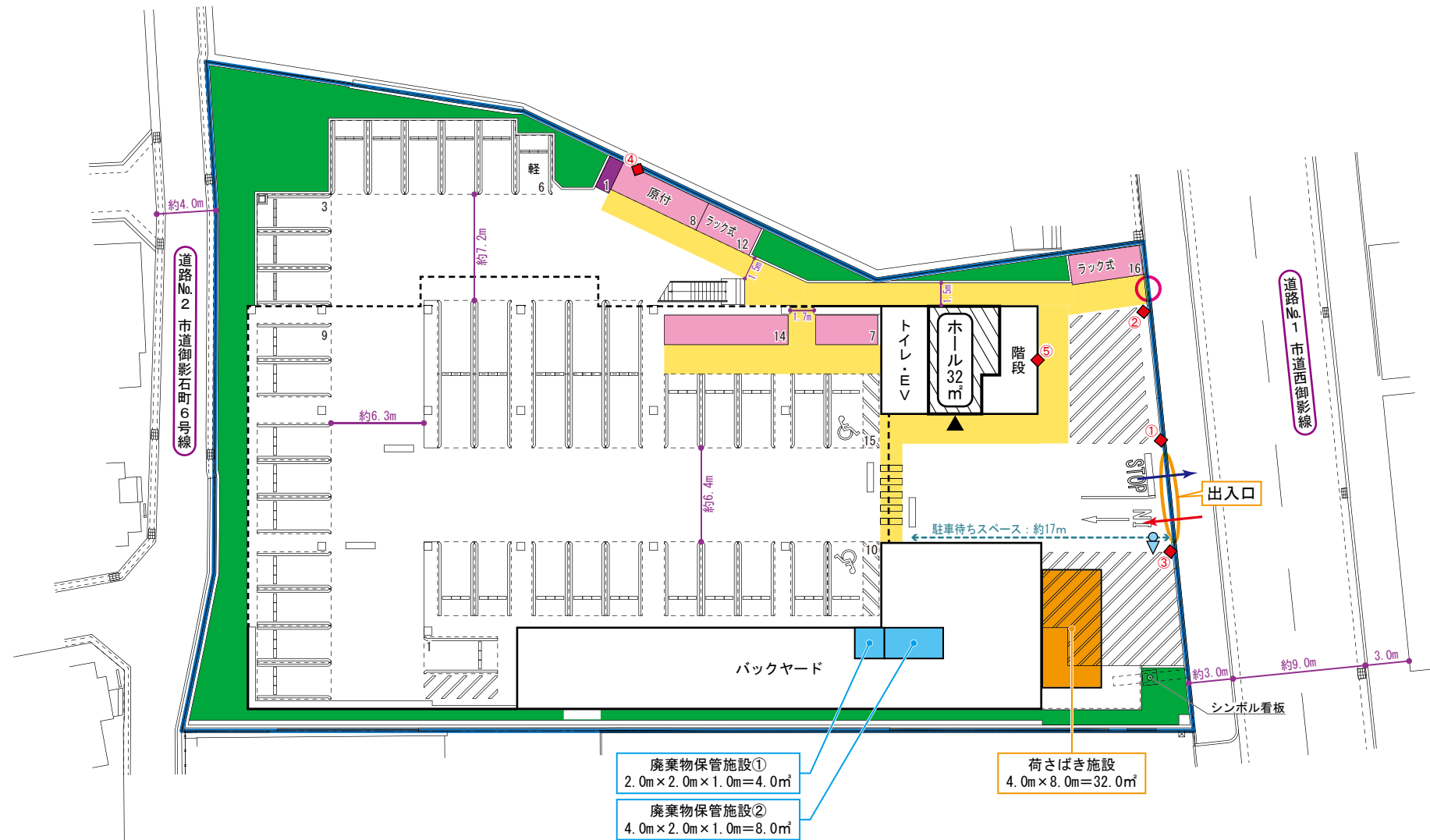
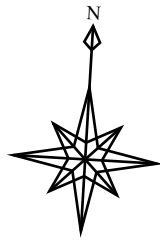
S=1:2,000



- 凡例 ■
- : 計画地
 - : 住宅など
 - : 併用住宅など
 - : 店舗・事業所など
 - : 福祉施設など
 - : 用途地域境界
 - : 通学路
 - P : 駐車場出入口
 - X : 騒音予測地点

添付図面 3-1
建物配置図兼 1階平面図

S=1:400



■面積表

階	店舗面積
2階	1,212㎡
1階	32㎡
合計	1,244㎡

駐車場: 37台
(全体収容台数: 44台)

駐輪場: 57台

自動二輪車置き場: 1台

《看板イメージ例》

①【内面】 ②【外面】

通学路注意!!
一旦停止
左右
安全確認

駐輪場のご案内

歩行者
自転車
専用出入口
自転車は
押して通行

現在地

③【外面】

原付・バイク置場のご案内

現在地

④【内面】 ⑤【東面】

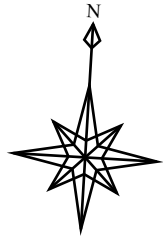
原付
大型バイク
置場

通路のため
駐輪禁止!!

- 廃棄物保管施設①
2.0m×2.0m×1.0m=4.0㎡
- 廃棄物保管施設②
4.0m×2.0m×1.0m=8.0㎡
- 荷さばき施設
4.0m×8.0m=32.0㎡

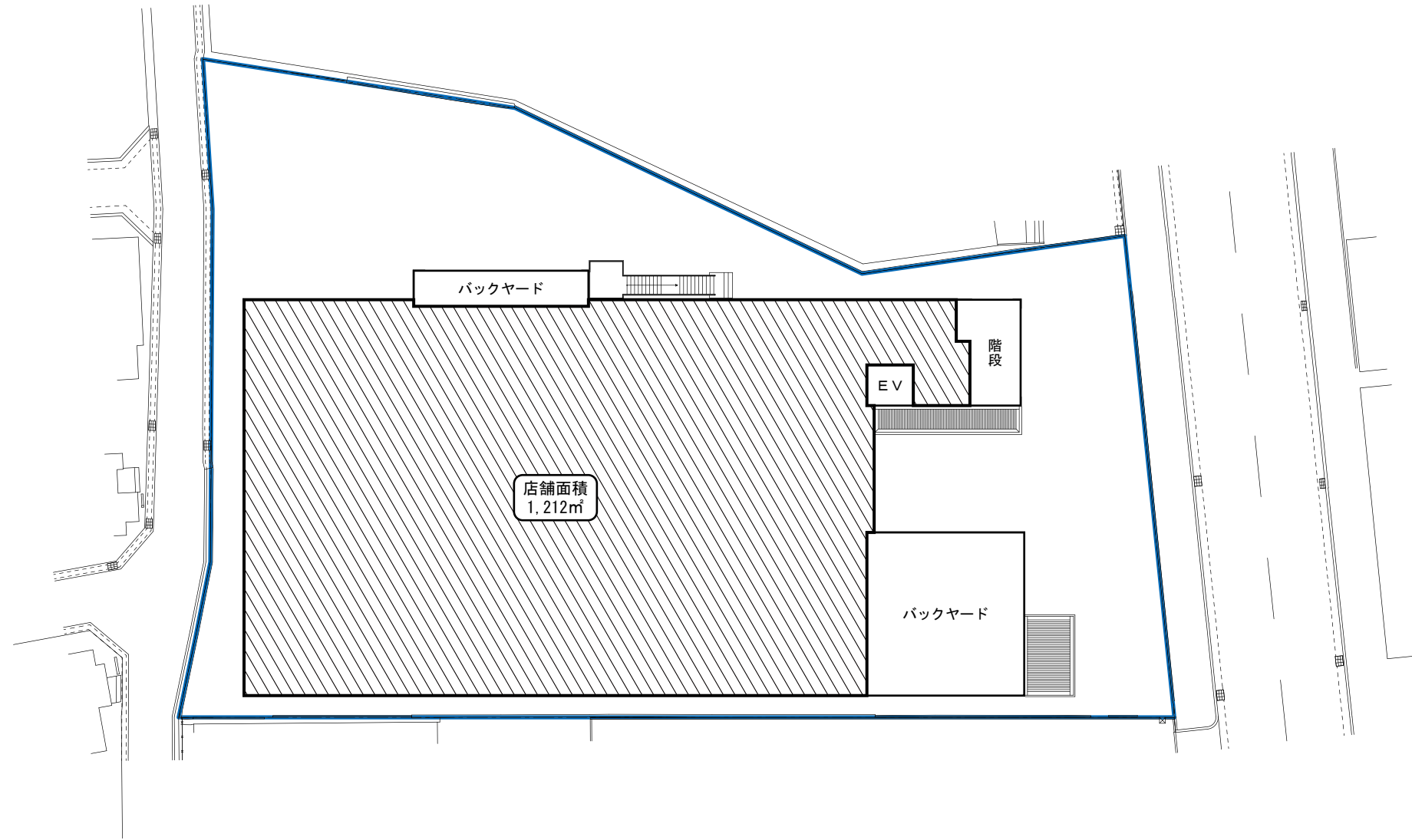
■凡例■

- 敷地境界線
- 売場部分
- 荷さばき施設
- 廃棄物保管施設
- 駐輪場
- 自動二輪車置き場
- 場内歩道
- 緑地
- ▲: 店舗出入口
- : 駐車場出入口
- : 歩行者・自転車用出入口
- : 来店客車両経路
- ←: 退店客車両経路
- ◆: 看板設置予定位置
- ◇: 交通整理員配置予定位置(繁忙期)

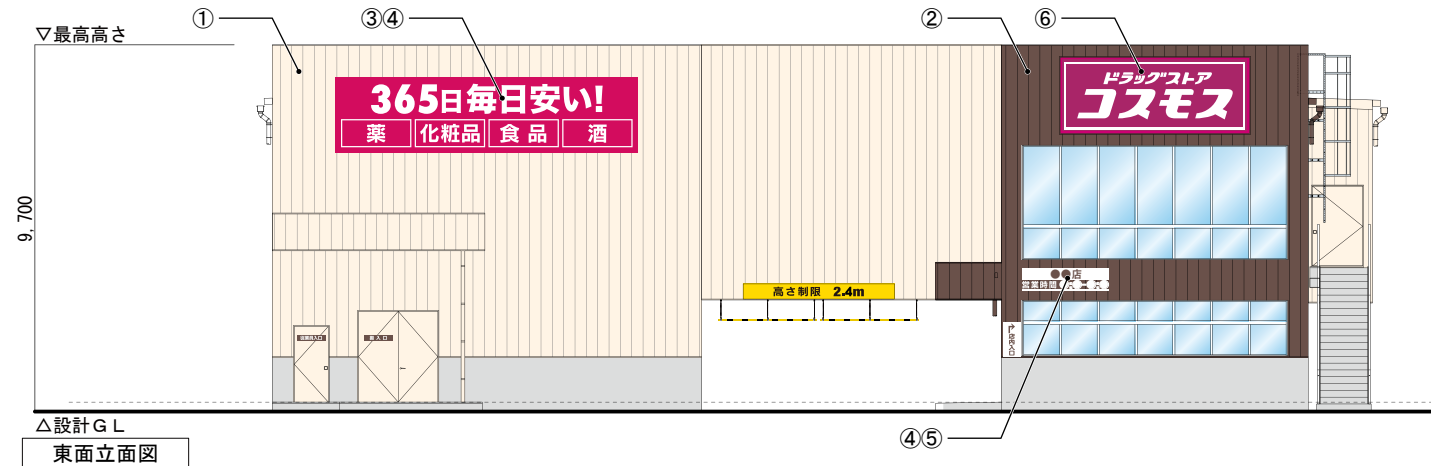


添付図面 3-2
2階平面図

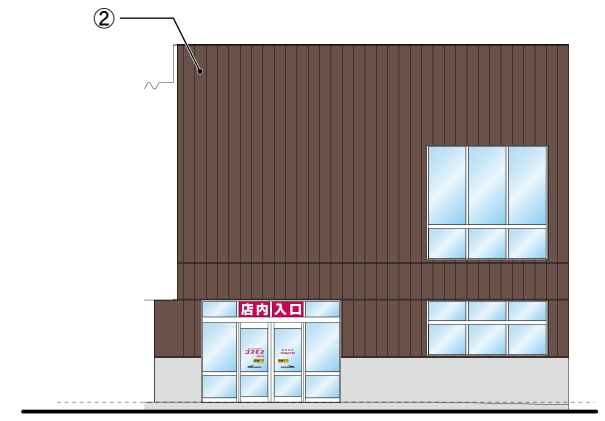
S=1 : 400



- 凡例 ■
- : 敷地境界線
 - ▨ : 売場部分



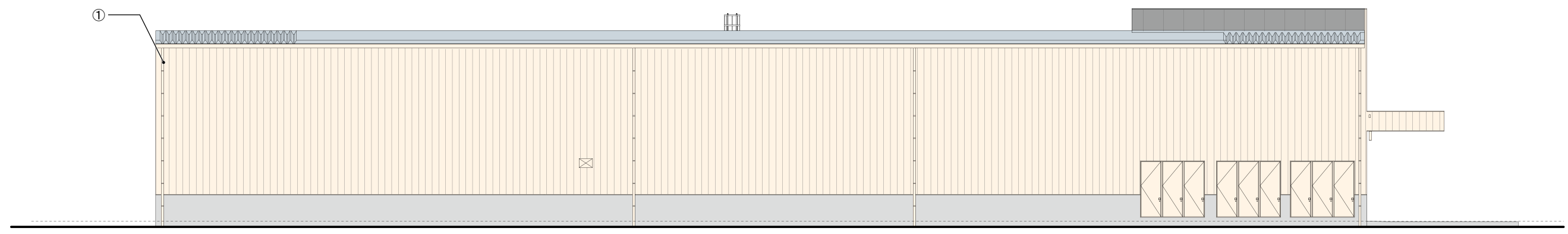
△設計GL
東面立面図



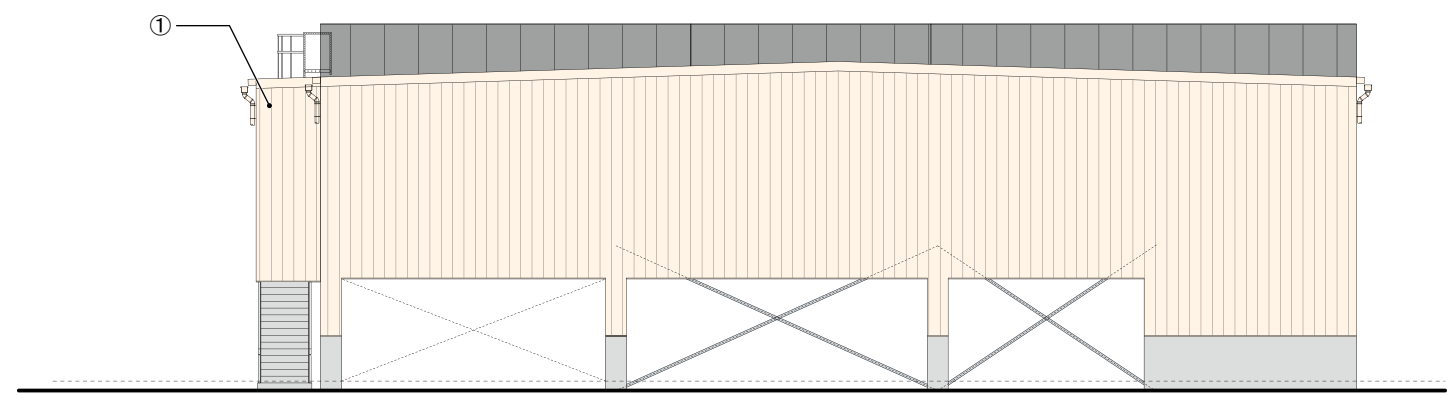
南面(店舗入口周辺)立面図

添付図面 4
建物立面図

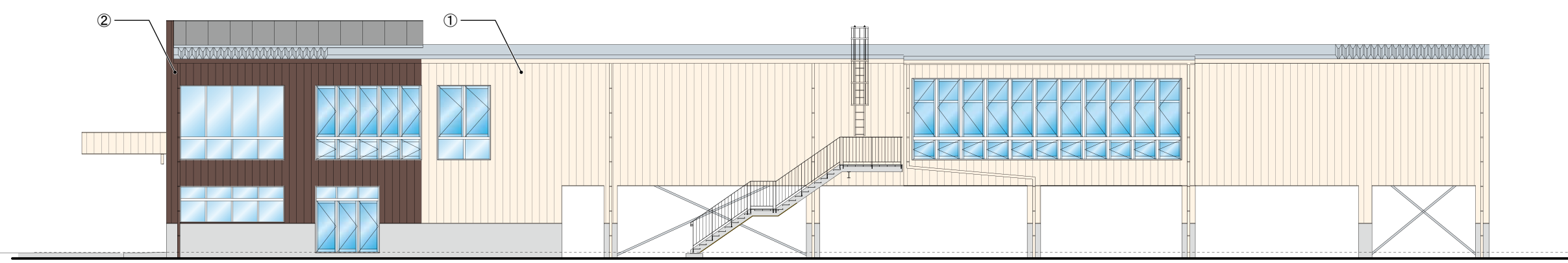
S=1:200



南面立面図

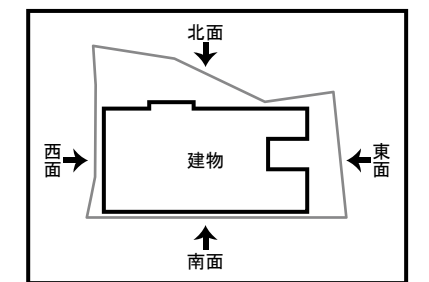


西面立面図



北面立面図

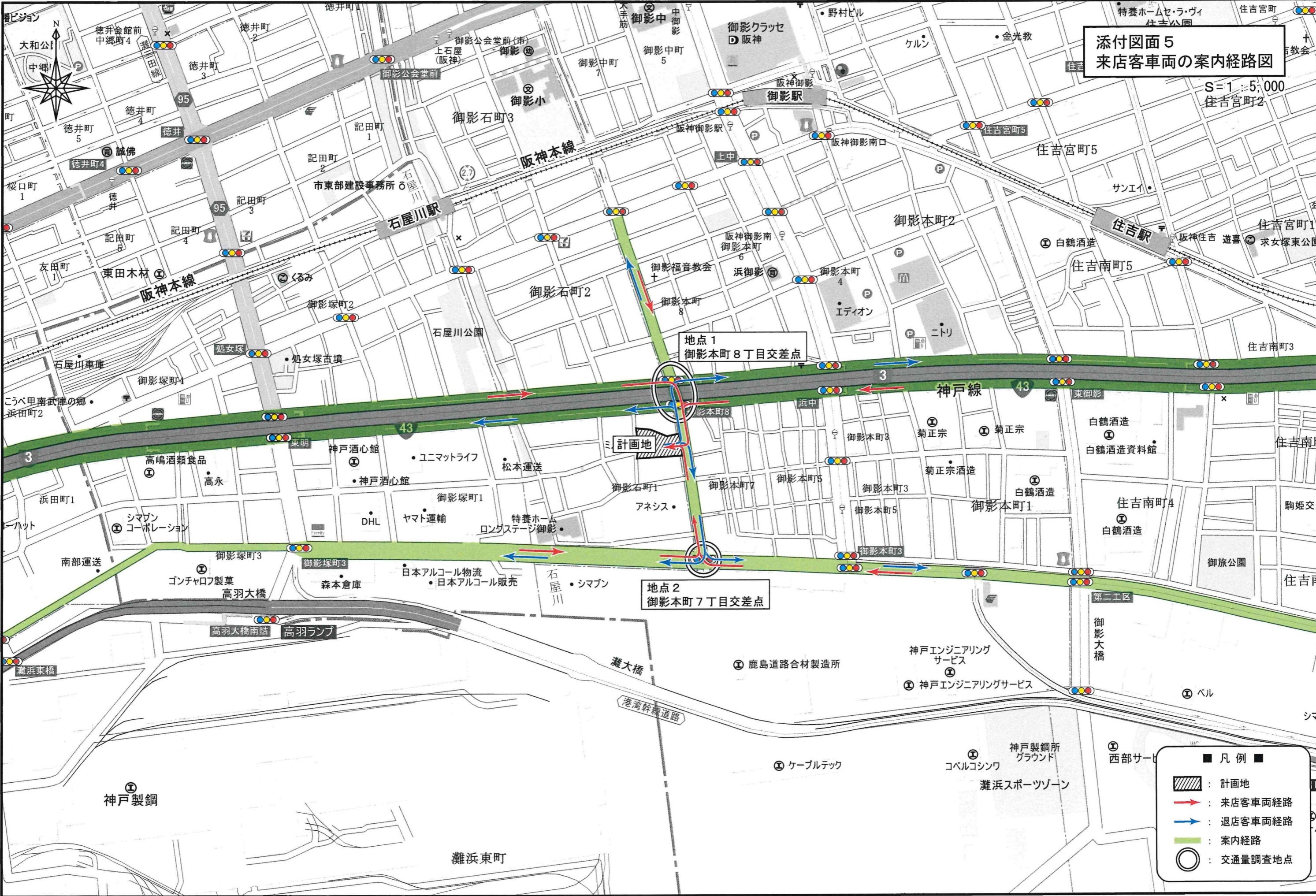
No.	色	色相	明度	彩度
①	□ 外壁：ベージュ	6.54YR	8.39	1.74
②	■ 外壁：焦げ茶	5.82YR	2.5	1.95
③	■ サイン：ピンク	9.0RP	4.1	12.5
④	□ サイン：ホワイト	8.51BG	9.35	0.18
⑤	■ サイン：セピア	5.76YR	2.50	2.30
⑥	■ サイン：パッションピンク	7.2RP	3.8	16.80



※ 当該立面図は店舗外観のイメージを示すものであり、詳細は変更になることがあります。

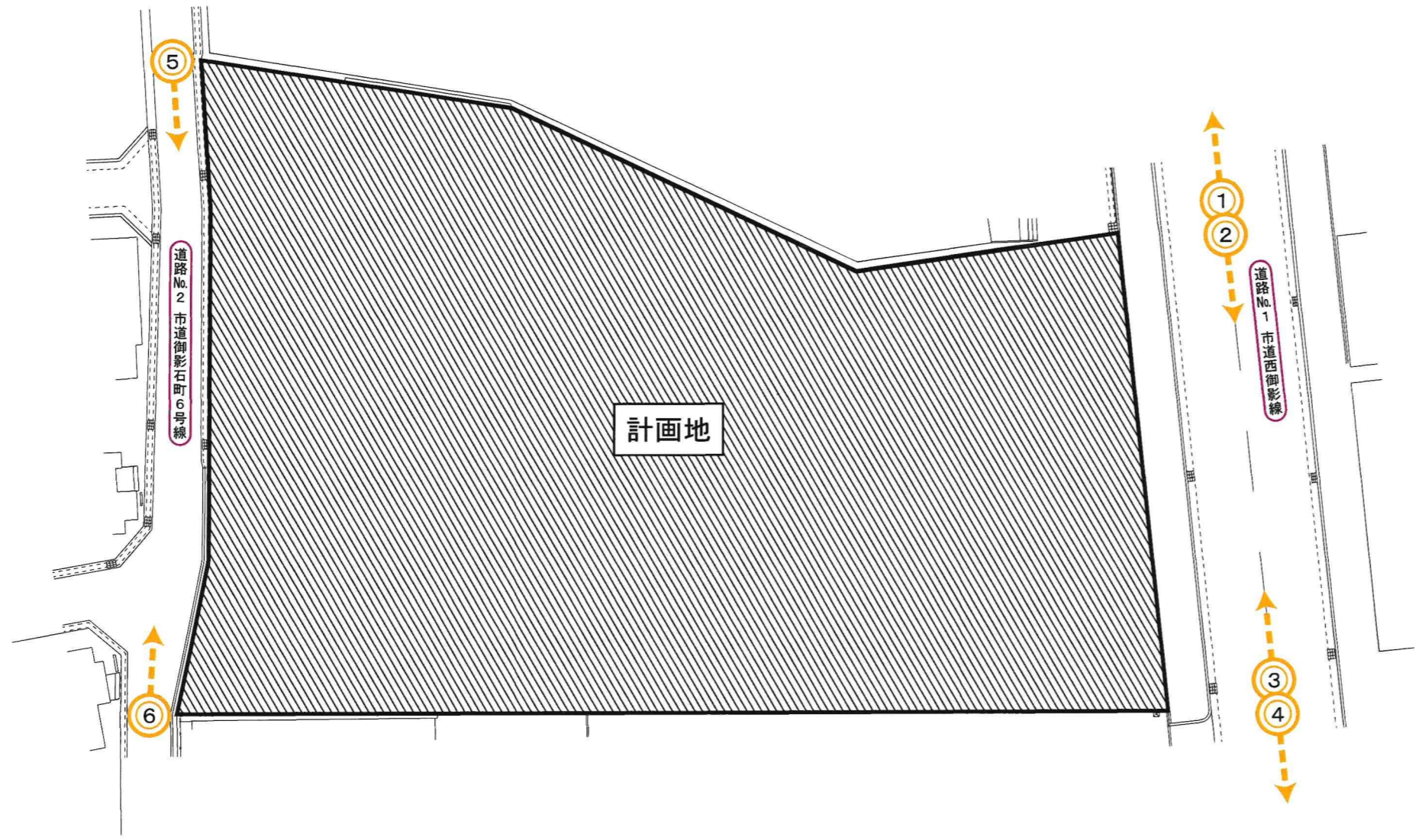
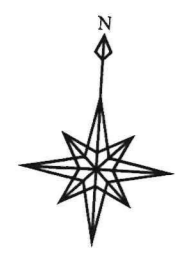
添付図面5
来店客車両の案内経路図

S=1:5,000
住吉宮町2



- 凡例 ■
- ▨ : 計画地
 - (red) : 来店客車両経路
 - (blue) : 退店客車両経路
 - (green) : 案内経路
 - : 交通量調査地点

添付図面 6
 周辺道路状況図
 S=1:400



① 道路No. 1 市道西御影線



② 道路No. 1 市道西御影線



⑥ 道路No. 2 市道御影石町 6号線



⑤ 道路No. 2 市道御影石町 6号線



④ 道路No. 1 市道西御影線



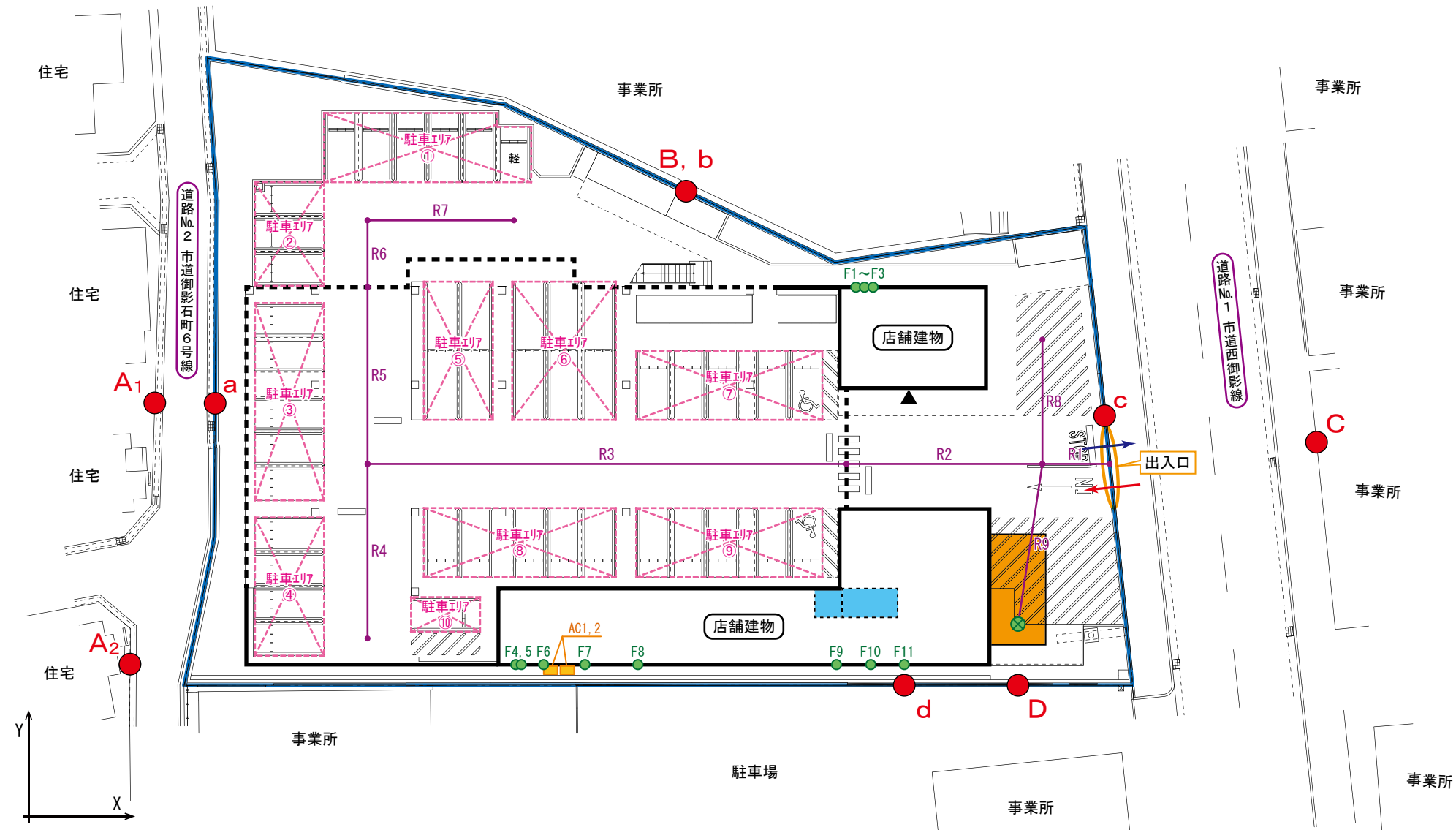
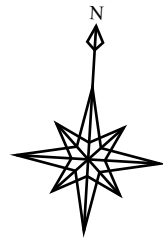
③ 道路No. 1 市道西御影線



- 凡例 ■
- : 写真撮影位置
 - : 写真撮影方向

添付図面 7-1
騒音発生源位置図(1階)

S=1:400



- 凡例 ■
- : 敷地境界線
 - : 駐車場出入口
 - (dashed) : 搬出入車両等出入口
 - (orange) : 荷さばき施設
 - (blue) : 廃棄物保管施設
 - ▲ : 店舗出入口
 - (yellow) : 空調用室外機
 - (light blue) : 冷凍庫用室外機
 - (green) : 換気ファン
 - ⊗ (green) : 荷さばき等作業位置
 - (dashed, pink) : 来店客車両のドア開閉音
 - (pink) : 車両走行路
 - (red) : 騒音予測地点

